

突撃レポート！

日赤職員が“いま”伝えたい

人

“地域のために”

山田食品産業株式会社  
代表取締役社長

山田 裕朗さん



突撃レポーター  
振興課 千賀 嘉子

宮城県仙台市出身。救急救命士。  
お酒が大好きです。  
今年2月に結婚しました♪

「うまい!安い!早い!腹いっぱい!」がコンセプト。  
埼玉県民であれば目にしたことがあろう黄色い看板の山田うどん。所沢に本社を置き158店舗を経営する山田社長は、長く赤十字を支えて下さっています。  
「地域あつての山田うどん。支えてくれている地域に貢献するため寄付を続けている。一企業としてできることはほんの一部に過ぎない。だから様々な分野の専門家である赤十字に思いを託している」とお話しくださいました。インタビュー後にWBC日本代表の前監督 栗山英樹さんとの2ショット写真を見せてくださったときの笑顔が印象的でした。  
地域を大切にすることこそ、「埼玉県民のソウルフード」として愛されている山田うどん。最近は新業態のタンメン専門店『埼玉タンメン山田太郎』が熱いです!

山田うどんの  
情報はこちら▶



## 会員特典

### 『健康管理支援事業』のご紹介

県内赤十字病院で健康診断を受けた際に、会員特典として費用補助(3,000円)があるのをご存じですか?今回はさいたま赤十字病院の健診センターを紹介します。同院は地域がん診療拠点病院であり、質の高いがん治療を行っています。そのため、健診もがんの早期発見を目的としたメニューが豊富です。例えば、一般ドックに加えて胸部CT、胃カメラ、各種腫瘍マーカーおよび男性は前立腺がん、女性は乳がん・子宮頸がんの検査も標準でそろえており、これでほぼ全身のがん検査ができます。他にもPET-CTや脳ドックも。万が一精密検査が必要になっても、同院で2次検査が受けられるので、時間や負担を軽減できます。

お問い合わせは、048-852-1110(健診センター)もしくは埼玉県支部へ



さいたまスーパーアリーナを望む待合室



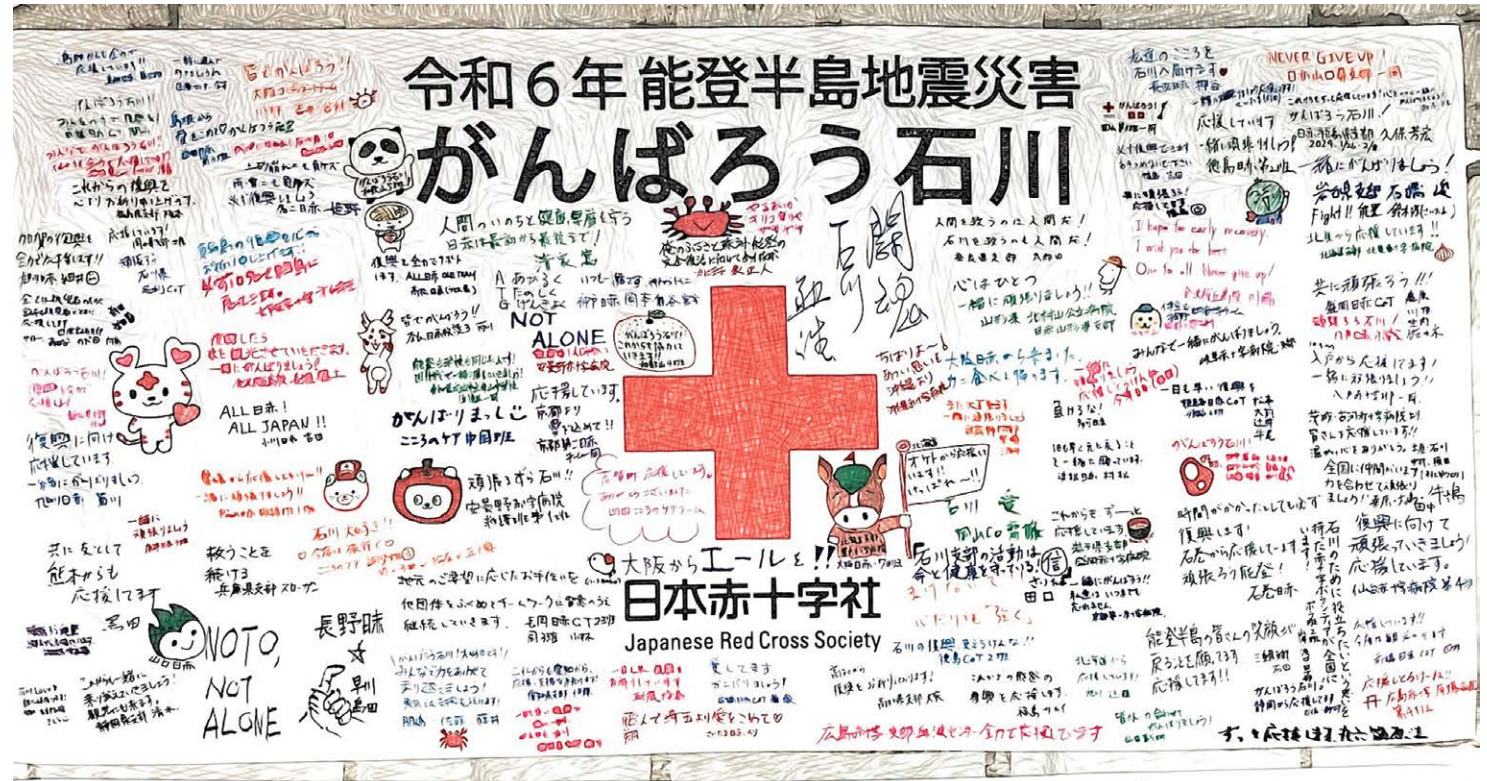
日本赤十字社

# 埼玉県有功会

会 報

2024年3月

第25号



石川県支部のエントランス壁面に掲げられた応援旗

## 特 集

### 能登半島地震

## 「赤十字の救護活動」

## 会 長 挨 拶

元日に発生した能登半島地震では、240名を超える尊い命が失われ、今なお多くの方が厳しい避難生活を余儀なくされています。お亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

この災害におきまして、埼玉県支部では救護班や活動を調整する災害医療コーディネーターなど数多くのチームを派遣し、深刻な被害を受けた珠洲市を中心に被災者の支援に当たってきました。こうした状況を勘案し「新春のつどい」は中止いたしました、多くの会員から「被災者のために頑張ってほしい」といった励ましの言葉をいただいたと聞いています。

今号では能登半島地震での埼玉県支部の救護活動の特集しました。これからも赤十字の「いのちを守る活動」を力強くサポートしていきたいと考えていますので、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

会長 利根 忠博

## 令和5年度表彰会員

【厚生労働大臣感謝状】 市ヶ谷 孝 様(戸田市)

【社長感謝状】  
《個人》

直井 哲也 様(所沢市)	牛島 和子 様(北区)	《法人》
安井 英傑 様(富士見市)	松岡 一雄 様(草加市)	(株)宮岡運輸 様(日高市)
田中憲次郎 様(ふじみ野市)	倉持 欣司 様(杉戸町)	(株)埼玉りそな銀行 様(浦和区)
今成 芳郎 様(北区)	市ヶ谷 孝 様(戸田市)	(株)新光工業 様(川口市)
小野寺貫一 様(岩槻区)	鈴木 國弘 様(杉戸町)	(株)松岡商事 様(草加市)
小山 和子 様(浦和区)	高橋 武男 様(東京都)	(宗)密蔵院 様(川口市)
小山 清吉 様(浦和区)	松本伸一郎 様(富士見市)	埼玉スバル(株) 様(中央区)
木村 鉄男 様(川口市)	広町 彰久 様(川口市)	(株)セイフティ輸送 様(北区)
山田 聡 様(戸田市)	二重作正次 様(上尾市)	(株)カイゴテック 様(熊谷市)
池田 孝 様(新座市)		光和輸送(株) 様(中央区)
		日東機材(株) 様(川口市)
		(株)東部重機 様(岩槻区)

## 新入会員のご紹介

(令和6年1月～令和6年2月)

【法人】

(福)さきたま会  
特別養護老人ホーム 薫藤園 様  
(羽生市)

## おくやみ

(令和6年1月～令和6年2月)

持田 進 氏(深谷市)  
吉岡 虎市 氏(深谷市)



## 特 集

### 能登半島地震

# 「赤十字の救護活動」



令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とする地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。赤十字は被災された方のいのちと健康を守るため、総力を結集し、さまざまな支援活動に取り組んでいます。今回の特集では、現地で活動に当たった埼玉県支部の職員の話をご紹介します。



地割れで崩落した道路  
迂回を余儀なくされる



被災者の自宅前で病院搬送の手  
配を行う日赤医師

## “何としてでも被災者のもとへ！”

(派遣期間:1/6～1/10)

道路の至る所に亀裂があり、更に雪で路面が見えなくなる。細心の注意を払いながら、寝たきりの高齢者がいるため自宅にとどまっている被災者のところに向かう。到着すると室温は氷点下。家屋の倒壊を恐れストーブがつけられないという。低体温症の危険から直ぐに病院搬送を手配。懐中電灯で部屋を照らしてくれた家族の手はひどく震えていた。



総務課  
総務一係長  
平田 瞬



青少年・ボランティア課  
青少年係長  
越後 隆

## “ミッションは救護員のサポート”

(派遣期間:1/6～1/9)

埼玉県支部救護班の活動地は珠洲市。街は機能を失っていた。被災地に負担をかけずに活動するため、能登半島の最北部にある総合運動公園の駐車場に TENT を張り、救護員が寝泊まりする場所を確保。深夜の雪降ろしや燃料の補充、簡易トイレの小まめなメンテナンスなど厳しい環境の中での活動であったが、“被災者に安心を届けたい” その一心で動き続けた。



救護員宿泊用TENTの設営



石油ストーブで暖をとりながら寝  
袋で生活

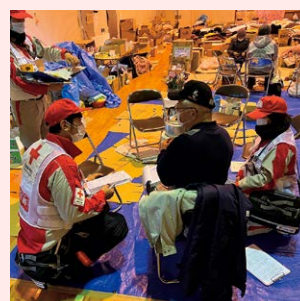
## “避難者の健康を守るために”

(派遣期間:1/21～1/26)

発災から半月が経過し、避難所ではインフルエンザやコロナなど感染症が流行り始めた。その対策として、定期的な巡回診療とともに避難所の清掃や段ボールベッドの設営など環境改善を進めた。また、被災者の診療記録や避難所ニーズを支援チームと共有するため、移動する車中でデータを入力し送信する。「何度も来てくれてありがとう」その言葉が忘れられない。



振興課 主事  
千賀 嘉子



避難所での巡回診療



車中で診療データの入力を行う  
看護師と薬剤師

## 有功会員のみなさまに聞きました！ 有功会に関するアンケート調査

いただいたご意見をもとに魅力ある会になるよう運営してまいります。

### Q1 総会後の講演会で聞きたいテーマは？

- 最近のがん診療について病院医師に話を聞きたい
- 赤十字社の海外での活躍の様子
- 健康管理のノウハウや病気予防など
- 赤十字活動のすばらしさをアピールできるもの

### Q2 日帰り研修で見学したい場所は？

- さいたま赤十字病院
- 赤十字情報プラザ（日赤本社1階）
- 赤十字血液センター
- その他感想など
  - ・先日の日帰り研修では楽しく過ごせた
  - ・会員の皆さまと知り合える機会となり感謝

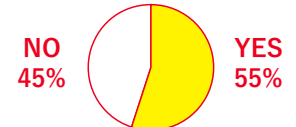
### Q3 「新春のつどい」で見たい余興は？

- 音楽
- マジック

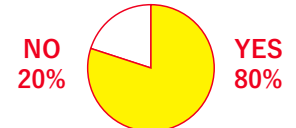
### Q4 健康管理支援事業について

※県内の赤十字病院で健康診断等を受診すると  
3,000円の補助を受けられます

#### Q4-1 この事業を知っていますか？



#### Q4-2 補助を利用したいですか？



#### ○ご意見など

- ・病気の早期発見、早期治療で安心して生活したい
- ・高齢になるほど必要だと思う
- ・良い制度だと思う
- ・安くなるのは嬉しい
- ・機会があれば考えたい

## TOPICS

### 日本郵便と取り組む終活紹介サービス 『終活日和』<sup>※</sup>のご案内

日本赤十字社では、寄付者の遺贈・相続に関するお困りごとにお応えできるよう、日本郵便株式会社との連携を始めました。支部やお近くの郵便局に気軽にご相談ください。

※『終活日和』は、一人ひとりの異なる悩みに応じて、終活支援を行っている事業者を紹介するサービスです。

日本郵便株式会社 関東支社  
松本 雅美さん



これからに元気を。大切な人に安心を。

## 郵便局の終活日和

郵便局と一緒に

「これから」の生活について考えてみませんか

元気なうちに  
考える  
相続対策

お一人さまの  
終活準備

介護施設に  
老人ホーム  
終の棲家は  
どう選ぶ？



0120-65-3741 平日 9時～20時  
(土日祝・年末年始は除く)



### “みなさまの身近にある郵便局” だからこそできること

シニアのお客さまのご利用が増えている中、私たちが役に立てることはないかと考え、終活紹介サービス『終活日和』が誕生しました。終活といっても相続や葬儀など多岐に渡ります。「何から手を付ければいいのか・・・」とお困りの方が気軽に相談できる窓口を目指しています。最寄りの郵便局では、サービスのご案内やコールセンターへの電話もお手伝いしますので、遠慮なくお声がけください。赤十字は寄付の受付などを通じてとても身近な存在です。「遺贈」は重く馴染みの薄い言葉ですが、郵便局が案内することで身近になり、「寄付で支え合う」社会貢献の一翼を担えればと思っています。